

農政の動き 2月9日～2月15日

◎木材輸出額が前年比 37%増の 326 億円に

林野庁は、2017 年の木材輸出額が前年比 37%増の 326 億円となり、38 年ぶりに 300 億円を超えたと発表した。特に木材需要が高まる中国向け輸出が好調で、梱包（こんぼう）材や土木用材などに利用される丸太が大きく伸びた。（9 日）

◎訪日外国人旅行者の買い物額は食料品等が 21%

農林水産省は、2017 年の訪日外国人旅行者の買い物額（推計値）のうち、食料品等は前年比 19%増の 3456 億円だったと発表した。全体の 21%を占め、内訳は「菓子類」が前年比 21%増の 1589 億円で、飲料や酒、タバコを含む「その他の食料品等」は 18%増の 1868 億円だった。（9 日）

◎ロシアで口蹄疫の発生を確認

農林水産省は、ロシアで 2 月 1 日に新たに口蹄疫の発生が確認されたと発表した。中国との国境近くのザバイカリエ地方の農場（牛 85 頭）で、12 日に国際獣疫事務局（OIE）に報告があったという。なお、ロシアでの発生確認は昨年 10 月以来。なお、今年 1 月以降、中国でもすでに 3 件、モンゴルは 7 件の発生が確認・報告されており、同省では、生産現場に引き続き厳重な警戒を呼びかけている。（13 日）

◎米の 1 月の相対取引価格は前月比 0.2%安

2017 年産米の 1 月の相対取引価格（全銘柄平均）は、前月比 0.2%安の 60 ㌔当たり 1 万 5596 円となったと、農林水産省が発表した。前年同期比では 8.6%高い。（13 日）

◎日本ナシ全国収穫量は前年産比 1%減

農林水産省は、2017 年産日本ナシの全国の収穫量が前年産比 1%減の 24 万 5400 トンだったと発表した。結果樹面積は 3%減の 1 万 1700 ㌔で、10 ㌔当たり収量が 3%増の 2100 ㌔となった。ブドウの収穫量は 2%減の 17 万 6100 トンで、結果樹面積が 1%減の 1 万 6900 ㌔となり、10 ㌔当たり収量も 1%減の 1040 ㌔だった。（13 日）

◎ソバ全国収穫量は前年産比 18%増

2017 年産ソバの全国の収穫量は前年産比 18%増の 3 万 3900 トンとなったと、農林水産省が公表した。作付面積が 4%増の 6 万 2900 ㌔となった上、10 ㌔当たり収量が不作だった前年産を 13%上回る 54 ㌔となったため。都道県別の収穫量割合は、北海道が 52%で過半を占め、長野県が 6%、茨城県 6%、栃木県 5%と続く。（15 日）